

組立作業手順



スプリング接続方式

該当機種

●プラグ



- CC-Link用: **PCA-1557617**
- DeviceNet™用: **PCA-1557659**
- PROFIBUS DP用: **PCA-1557701**

●ソケット



- CC-Link用: **PCA-1557620**
- DeviceNet™用: **PCA-1557662**
- PROFIBUS DP用: **PCA-1557714**

結線

CC-Link

| 端子No. | 配線色 | 電線色 | 信号名 |
|-------|-----|--------|-----|
| 1 | 灰 | (シールド) | SLD |
| 2 | 白 | 白 | DB |
| 3 | 黄 | 黄 | DG |
| 4 | 青 | 青 | DA |

DeviceNet

| 端子No. | 配線色 | 電線色 | 信号名 |
|-------|-----|--------|-------|
| 1 | 灰 | (シールド) | DRAIN |
| 2 | 赤 | 赤 | V+ |
| 3 | 黒 | 黒 | V- |
| 4 | 白 | 白 | CAN H |
| 5 | 青 | 青 | CAN L |



| 端子No. | 配線色 | 電線色 | 信号名 |
|-------|-----|-----|--------|
| 1 | - | - | - |
| 2 | 緑 | 緑 | A Line |
| 3 | - | - | - |
| 4 | 赤 | 赤 | B Line |
| 5 | - | - | - |

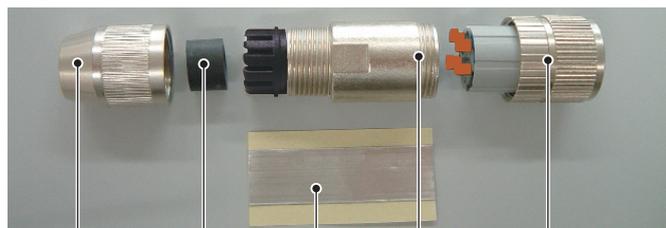
準備するもの

- ・ ケーブルの被覆を剥くストリッパー
(推奨: フェニックス・コンタクト社製 WIREFOX-D 11(1212160))
- ・ 電線の被覆を剥くストリッパー
(推奨: フェニックス・コンタクト社製 WIREFOX 2,5(1212368))
- ・ シールド線をカットするニッパー
(推奨: フェニックス・コンタクト社製 MICROFOX-SP(1212488))

部品構成

開封時にご確認ください。

※: 写真はソケットタイプです。



キャップ ガスケット シールド線用シール 本体II 本体I

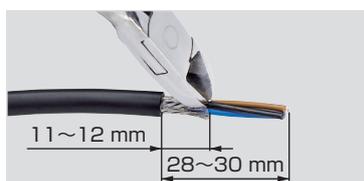
組立手順

※: 写真はプラグタイプです。

- 1 ケーブルにキャップ、ガスケットと本体IIを通します。

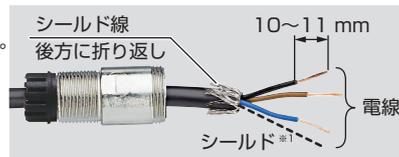


- 2 ケーブルの被覆を剥きます。
電線は28~30 mm
シールド線は11~12 mm
残します。



組立手順

- 3 シールド線を一時的にケーブル後方に折り返します。
電線の被覆を10~11 mm
剥き、必要に応じて電線端に
棒端子(フェールル)を圧着し
ます。



- ・ 棒端子(フェールル)
(推奨: フェニックス・コンタクト社製 AI 0,5-10 WH(3201275))
- ・ 棒端子(フェールル)を圧着する工具
(専用: フェニックス・コンタクト社製 CRIMPFOX 6(1212034))
(専用: フェニックス・コンタクト社製 CRIMPFOX CENTRUS 10S(1213154))

- 4 本体Iに電線を接続します。
撚線の場合、ボタンを押して、
接続部を開け、導体が見えなく
なるまで電線を挿入します。
CC-Link、DeviceNet™の
場合は、シールド*1を
端子No.1(灰色)に挿入します。

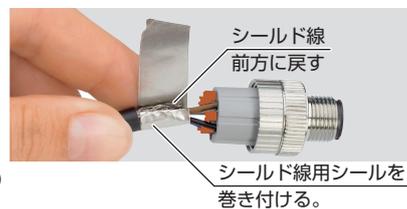


棒端子(フェールル)付の場合、そのまま挿入できます。
接続面は接続する電線によって配線色があらかじめ表示されています。
(左記、結線参照)

接続面



- 5 シールド線をケーブル前方
に戻し、付属のシールド
線用シールを巻きつけ、
まとめます。
(このシールを介して、
ケーブルのシールド線と
金属筐体が接続されます。)



- 6 本体IIを本体Iに引き寄せます。
本体Iを本体IIにねじ込みます。
推奨トルク値: 0.8 Nm



- 7 キャップを本体IIに締付けます。
推奨トルク値: 2.5~3.0 Nm



完成後、ケーブルを軽く引っ張り緩みなどないか確認します。

取扱い上のお願い

- ・ 本来の目的以外に使用しないでください。
- ・ コネクタの抜差しは通電しない状態で行ってください。
- ・ 濡れた手での作業は感電の原因となります。
- ・ 修理等は絶対に行わないでください。

SMC株式会社

URL <http://www.smcworld.com>

この内容は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
本取扱説明書掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。
© 2007-2017 SMC Corporation All Rights Reserved

No. PCA※-OML0001-A